

《問》第六次長期総合計画のとおり少子化が進行する場合、2045年の年少人口は2020年の約67%に減少するが、学校施設のあり方についてはどう考えているか。

《答》教育的な観点以外にも公共施設全体の総合管理の面など様々な要素を含む課題と捉えており、教育委員会での検討と併せて、今後の方向性について検討していく。

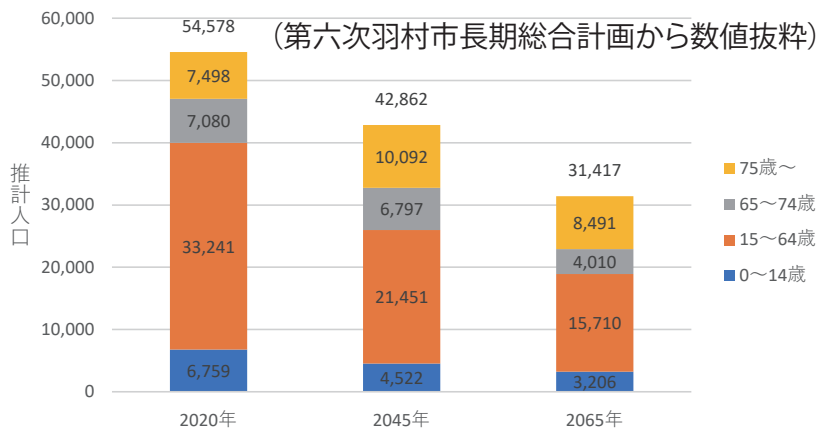
《問》子育て負担軽減や子育て世帯の流入のため、3世代近居・同居の促進、住宅取得助成事業の創設、住宅金融支援機構との連携に取り組んではいかがか。

《答》今後も羽村市が住みたいまちとして選択されるために、提案の内容も含め具体的な取組みの検討を進める。

《問》私立幼稚園等園児保護者負担軽減補助金について、多子世帯の子育てへの経済的負担を考慮し、補助額の増額や要件の緩和を進めてはいかがか。

《答》都が行う補助事業に加え、市単独で保護者の所得にかかわらず月額上限3千円を上乗せする形で保護者の負担軽減に取り組んでいる。市民ニーズに応えるべく、国や都が重点的に取り組む制度の活用について、前向きに検討していく。

羽村市の将来人口推計



【子どもの情報活用能力について】

《問》市ではこれまでのICT教育への取組みの結果をどのように生かして、子どもの情報活用能力の向上に取り組んでいるか。

《答》過去の実践を生かしてマニュアルを作成し、市内全校に配布した。また、情報教育推進委員会で、情報活用能力の育成について協議の上カリキュラムを作成し、各学校で活用している。

《問》市内企業と連携することにより工場内の機械や製品に利用される情報技術の例を学ぶことや、情報通信分野の先進企業と連携することにより、企業が中心となった教員向けの研修、児童生徒向けの教育等の実施に取り組んではいかがか。

《答》今後、教育委員会は、外部人材・外部団体と連携した教育活動の更なる充実を図るため、市内企業の取組や人材等の情報を収集し、各学校に提供するとともに、具体的な取組内容等について指導・助言を行っていく。

その他の活動

- ・市内全小中学校のトイレ改修状況の視察
- ・食品配布会（フードバンクはむら）
- ・節電所展示（エコネットはむら）
- ・公園ボランティア 等

（HP、Twitter等では随時活動の様子を発信しています。）



まだまだ暑い日が続きますね。
のどが乾く前に水分補給を！

